

平成30年度 事業報告書

第1 交通情勢

平成30年中における県内の交通事故発生状況は、次のとおりである。

- 発生件数 1,982件（前年対比 -249件 -11.2%）
- 死者数 59人（前年対比 -2人 -3.3%）
- 傷者数 2,412人（前年対比 -318人 -11.6%）

発生件数、死者数及び負傷者数とも減少し、特に、死者数については、昭和29年以降の最少を更新した。しかし、相変わらず、飲酒運転や歩行者保護義務違反等の悪質危険違反によるものが後を絶たないほか、高齢者の死者数も全死者の約7割（40人、67.8%）を占めるなど、県内の交通情勢は、相変わらず予断を許さない情勢下にある。

第2 協力会費の収納

盛岡運転免許センターにおける入会状況は、次のとおりである。

- 更新会員 10,259人（前年度対比 -274人 -2.6%）
- 新規会員 528人（前年度対比 +8人 +1.5%）
- 計 10,787人（前年度対比 -266人 -2.4%）

協力会費の総額は、24,452,500円（前年度対比 -855,000円、-3.4%）となり、入会者の住所地を管轄する地区交通安全協会（以下「地区安協」という。）に送付している。

第3 会員対策の推進

1 窓口等における推進状況

(1) 盛岡運転免許センターでは、交通安全協会（以下「協会」という。）の活動に対する理解が得られるように、活動の目的及び事例の紹介等を盛り込んだリーフレットを入会勧誘時に窓口で配布した。

また、交通事故見舞金制度やチャイルドシート等の無料貸出などの特典を説明するとともに、希望者には免許証ケースのほか、10月から「セーフティドライブマップ 岩手」を作成して配付を行い、入会を勧誘した。

(2) 協会の活動を紹介したパネルを盛岡運転免許センター内に掲示した。

(3) 協会の活動を紹介したポスターを地区安協を通じて各センター及び各警察署に掲示した。

(4) 新規免許取得者の入会率向上のため、協会活動の紹介ポスターと合わせて入会勧誘のポスターを各指定自動車教習所に掲示した。

(5) 公共の場所における入会勧誘であることから、誤解を招くような行動・言動を行わないことや、あくまで任意加入であることを説明するよう配慮した。

(6) 岩手県交通安全協会（以下「県安協」という。）におけるチャイルドシート貸出業務時や各種活動中においても、協会の役割や具体的な活動内容等を説明の上、入会勧誘を行った。

2 体験型講習会等における推進状況

各種講習会やイベント会場等において、自転車シミュレーターやクイック・アーム等を積極的に活用した体験型交通安全教育を推進するにあたり、合わせて協会の役割や具体的な活動内容等についても広報しながら入会勧誘に努めた。

3 各種広報メディア利用による推進状況

マスコミを通じて広報を実施するとともに、当協会ホームページにおいても各地区協会の交通安全活動等を画像で紹介しているほか、若年者の入会向上対策として、携帯やスマートフォンサイトを設けて協会の活動や入会特典等の広報を推進した。

第4 主な交通安全啓発活動

1 広報活動の推進

警察及び関係機関・団体との緊密な連携の下、岩手県交通安全対策協議会（以下「交対協」という。）が主唱する平成30年度「正しい交通ルールを守る県民運動」実施要綱に基づき、次の活動を重点として推進した。

(1) ライトの早め点灯・反射材用品等の着用

夕暮れ時間帯・夜間の歩行者が関係する事故は、発見の遅れが要因の一つであり、特に9月以降、日没後の重大事故が多発することから、相互に気付き気付かせる「ライトの早め点灯」「反射材・LEDライトの着用」等3（サン）ライト運動を推進した。

① ライトの早め点灯、原則上向きライト（ハイビーム）走行

※ 9月21日（秋の全国交通安全運動初日）から3月31日まで、午後4時からの早め点灯を呼び掛ける。

② 反射材用品、LEDライト等の着用

③ 右からの横断者、左からの車に注意

(2) スピードダウンの徹底

スピードの出し過ぎは、運転者の視野を狭くし、危険の発見や緊急時の判断を遅らせるほか、交通事故時の衝撃が大きくなるなど、重大な交通事故をもたらすことから、制限速度を守ることはもちろん、交通環境や道路状況に応じた安全な走行速度の実践を推進した。

(3) 全ての座席のシートベルト・チャイルドシート着用

県内のシートベルト着用率は、運転席・助手席は高いものの、一般道路での後部席は低い状況にあることから、全座席でのシートベルトの着用の効果と重要性を周知して着用率を高め、交通安全への意識付けと交通事故発生時の被害軽減を図った。

(4) 飲酒運転の根絶

少しのアルコールでも運転への影響は大きく、また、事故当事者の人生にも多大な影響を与える重大な犯罪である飲酒運転の根絶を目指した。

(5) 自転車の安全利用の推進

自転車利用者に「自転車は車両である」ことを自覚させ、左側の通行・整備不良車運転の禁止など交通ルールの遵守と交通マナーの実践、各種保険制度への加入により、安全な自転車利用を推進した。

2 交通安全活動資料の作成・配布

各季節運動を中心に広報資料を作成し、地区安協及び関係機関・団体等に配布した。

○ 春の全国交通安全運動用ポスター	2, 350 枚
○ 秋の全国交通安全運動用ポスター	1, 750 枚
○ 交通安全県民運動用チラシ	45, 000 枚
○ 黄色い羽根	50, 000 本

3 交通安全資器材レンタル事業の推進

(1) チャイルドシート等の貸出

自動車乗車中の子供の被害軽減を図るため、チャイルドシート等のレンタル事業を実施し、会員等延べ563人（前年度対比+45人 +8%）に717台（前年対比+42台 +6.0%）を貸し出し、正しい装着の仕方を指導するなど、会員サービスの向上とチャイルドシート等の普及促進を図った。

(2) 交通安全教育DVDの貸出

内容の充実した交通安全教育DVDの整備に努めるとともに、団体や事業所・学校にDVD等合計335本（前年度対比-35本 -9.5%）を貸し出すことで、交通安全教育の支援と交通安全意識の向上を図った。

4 会報の発行

各種交通安全施策をはじめ協会の活動状況を紹介した機関紙「交通いわて」を、年4回合計28,000部発行して関係機関・団体に配布し、協会の活動について更なる理解と支援の促進を図った。

5 各種メディアを活用した広報活動

IBC岩手放送、テレビ岩手、岩手朝日テレビ、岩手めんこいテレビ及びエフエム岩手の協力を得て、交対協が主唱する「平成30年度正しい交通ルールを守る県民運動」の各季節運動期間を中心として、広報重点につき協会のロゴ入りの交通安全キャンペーン放送あるいはスポット放送を行うとともに、岩手日報社、読売新聞社等にも交通安全運動キャンペーンを掲載するなど広報活動を推進した。

6 参加・体験型講習会への教育資器材の貸出

関係機関・団体（自治体等）が主催するイベント及び交通安全教室に対し、自転車シミュレーター、酒酔い運転体験ゴーグル、クイック・アーム等の交通安全教育資器材を貸し出すことで、県民の交通安全意識の高揚と協会の活動に対する理解の促進を図った。

- 貸出回数 134回（前年度対比+ 16回 +13.6%）
- 受講者総数 10,579人（前年度対比+1,275人 +13.7%）

第5 会議の開催

1 正・副会長会議及び理事会の開催

(1) 5月17日（木）県安協会議室

第1回正・副会長会議を開催し、定時総会の議題について協議した。

また、監事による平成29年度決算に対する監査会も実施された。

(2) 5月24日（木）県安協会議室

第2回正・副会長会議及び第1回理事会を開催し、平成29年度事業報告及び同収支決算書、平成30年度事業計画（案）及び同収支予算書（案）等を審議した。

(3) 6月7日（木） エスポワールいわて

定時総会当日、第3回正・副会長会議が行われ、総会議題の最終打合せを行った。

(4) 11月26日（月） 県安協会議室

第4回正・副会長会議及び第2回理事会を開催し、平成30年度上半期の予算執行状況について審議した。

2 定時総会の開催

6月7日（木）エスポワールいわて

平成29年度事業報告及び同収支決算書の承認、平成30年度事業計画（案）及び同収支予算書（案）について審議した。

3 事務局長会議の開催

平成30年10月5日（金）及び当年3月6日（水） 県安協会議室
当面の協会運営上の諸問題を協議した。

第6 会議等への出席

1 東北交通安全協会総会

6月14日（木）福島市内において開催され、県安協から会長及び専務理事が出席して、平成29年度事業報告・同収支決算報告並びに平成30年度事業計画・予算（案）等の審議が行われ、引き続き表彰式も開催された。

2 東北・北海道交通安全協会専務理事・事務局長会議

9月13日（木）青森市内において開催され、県安協から専務理事及び事務局長が出席して、当面の協会運営上の諸問題について協議した。

3 （公財）日本交通管理技術協会東北・北海道ブロック会議

10月11日（木）秋田市内において開催され、県安協から業務課長、業務係長が出席して、TSマークの普及等について協議した。

4 正しい交通ルールを守る運動県民大会

11月2日（金）盛岡市内において開催され、県安協会長が岩手県交通安全対策協議会会長表彰を授与し、専務理事が高校生交通安全テレビCMコンテストの最終審査及び表彰状の授与を行った。

5 都道府県交通安全協会専務理事会議

当年3月19日（火）東京都内において開催され、県安協から専務理事が出席した。

6 その他

- (1) 地域交通安全活動推進委員全国研修会 （6月8日 東京 業務課長、委員）
- (2) 東北交通安全協会職員研修会 （11月7日 仙台市 業務課長、経理係長）
- (3) 幼児・高齢者講習会 （11月28日～11月30日 業務係長）

第7 交通安全競技会及び講習会の開催

1 第51回交通安全子供自転車岩手県大会（共催：岩手県警察本部 後援：岩手県）

児童に対する交通安全思想の普及、交通ルール及び交通安全の知識・技能を習慣付けさせることを目的として、7月9日（月）岩手県営運動公園内の交通公園において開催した結果、3チーム12人が参加し、成績優秀なチーム及び個人に対して県警察本部長及び県交通安全協会会長連名の賞状、副賞を授与した。

(1) 団体の部

優 勝	奥州市立玉里小学校 A チーム
準優勝	奥州市立玉里小学校 B チーム
第3位	奥州市立玉里小学校 C チーム

(2) 個人の部

- | | | |
|-----|-------|---------|
| 第1位 | 伊藤 乃絵 | (玉里小学校) |
| 第2位 | 佐藤 迅汰 | (同) |
| 第3位 | 平野 静紅 | (同) |

の3名が賞揚された。

2 第53回交通安全子供自転車全国大会への出場

8月8日(水)東京都区内で開催され、前記県大会優勝校の奥州市立玉里小学校が本県代表として出場し45位であった。

なお、同大会には、県安協から業務課長、業務係長が同行して、選手の支援等に従事した。

第8 講習会の開催

1 シニアドライバースクールの開催

(共催：日本自動車連盟岩手県支部 後援：岩手県警察本部)

8月25日(土)自動車運転免許試験場において、高齢運転者の交通事故防止を図るため、参加・体験型の交通安全講習会「シニアドライバースクール」を開催した。

2 グッドライダーミーティングの開催

(共催：岩手県二輪車普及安全協会 後援：岩手県警察本部等)

5月13日(日)、7月15日(日)、9月16日(日)の3回にわたり、自動車運転免許試験場において、二輪車利用者の交通安全意識の向上を図るため、参加・体験型の交通安全実技講習会「グッドライダーミーティング」を開催した。

第9 各季の交通安全運動等の推進

- | | |
|------------------|-----------------|
| ○ 春の全国交通安全運動 | (4月 6日～ 4月15日) |
| ○ 交通事故死ゼロを目指す日 | (4月10日、 9月30日) |
| ○ 自転車の安全利用推進期間 | (5月 8日～ 5月17日) |
| ○ 夏の交通事故防止県民運動 | (8月 1日～ 8月10日) |
| ○ 秋の全国交通安全運動 | (9月21日～ 9月30日) |
| ○ 高齢者の交通事故防止県民運動 | (10月17日～10月31日) |
| ○ 冬の交通事故防止県民運動 | (12月 1日～12月10日) |

上記の交通安全運動等の効果的な推進を図るため、関係機関及び団体と連携し、広報資料の配布やラジオのスポット放送、広報車による広報等を重点として推進した。

第10 交通安全功労者等の表彰

1 警察庁長官及び全日本交通安全協会会長連名表彰

本年1月17日(木)東京都文京シビックホールにおいて、「第59回交通安全国民運動中央大会」が開催され、県安協から会長及び専務理事以下が出席したが、その席上において次のとおり表彰された。

(1) 交通栄誉章「緑十字金章」

- | | | |
|-----------|-------|--------|
| ○ 交通安全功労者 | 大森 清志 | (盛岡地区) |
| | 高橋 トシ | (花巻地区) |

(2) 交通栄誉章「緑十字銀章」

- 交通安全功労者

佐藤 禎左	(盛岡地区)
瀬川 實	(北岩手地区)
深澤 剛	(紫波地区)
近江 育夫	(東磐井地区)
及川 マサ子	(遠野地区)
菊池 重人	(釜石地区)
- 優良運転者

菅原 勝雄	(一関地区)
-------	--------

2 全日本交通安全協会長交通栄誉章「緑十字銅章」表彰

- 交通安全功労者 28名
- 優良運転者 101名

3 東北管区警察局長・東北交通安全協会長連名表彰

- 交通安全功労者 15名
- 優良運転者 22名
- 優良地区交通安全協会 水沢地方交通安全協会
- 交通安全優良団体 盛岡交通安全協会仙北分会
小山田女性ドライバー部会
- 交通安全優良学校 八幡平市立田山小学校
九戸村立山根小学校

4 岩手県警察本部長・岩手県交通安全協会長連名表彰（春・秋）

- 交通安全功労者 43名
- 優良運転者 488名
- 優良団体 25団体

第11 交通安全活動推進センター事業の推進

道路交通法第108条の31に基づき、岩手県公安委員会から交通安全活動推進センターとして指定を受け、次の事業等を実施した。

1 地域交通安全活動推進委員連絡協議会に関する事務

連絡協議会の連絡調整のほか、会報を年4回発行、委員が適切に任務を遂行するためのブロック研修会を年4回開催した。

2 その他の事務

道路の適正な利用に関する広報活動や道路使用許可にかかる道路調査及び交通事故相談業務を適正に推進した。

- 道路使用許可調査

履行状況	9, 875件	(前年度対比	－	157件)
回復状況	8, 730件	(前年度対比	－	74件)
- 交通事故相談 0件 (前年度対比 ±0件)

第12 委託業務の推進

1 運転免許にかかる講習事業の実施

(1) 更新時講習の実施

更新時講習は、受講者の年齢層や運転経験が多岐にわたっていることから、身近に発生した交通事故を具体的事例として取り上げるなど、重点を絞った理解しやすい講習を行うように配慮した。

また、特定任意講習については、同一水準の講習ができるよう、適正な会場の選定や地域の交通事情に即した講習内容となるように努めた。

○ 優良運転者講習	83,962人	(前年度対比	-6,227人)
○ 一般運転者講習	23,971人	(前年度対比	-2,576人)
○ 違反運転者講習	14,741人	(前年度対比	-2,375人)
○ 初回運転者講習	9,973人	(前年度対比	-347人)
○ 特定任意講習	307人	(前年度対比	-105人)
計	132,954人	(前年度対比	-11,630人)

(2) 停止処分者講習の実施

運転適性検査器（CRT）及びシミュレーターなどの資器材の効果的な活用を図ったほか、実車指導能力向上のための研修を行うなど適正な講習の実施に努めた。

また、「飲酒学級」については、酒酔い体験ゴーグルによる体験型講習を実施するなど、飲酒運転防止のための取り組みを強化した。

○ 長期	97人	(前年度対比	-6人)
○ 中期	157人	(前年度対比	-14人)
○ 短期	735人	(前年度対比	-160人)
計	989人	(前年度対比	-180人)

(3) 違反者講習の実施

社会参加活動参加者について、より効果の上がる活動場所や時間帯の選定に配慮したほか、実車希望者については、法令遵守を重点とした指導を行った。

○ 社会参加活動	40人	(前年度対比	-29人)
○ 実車講習	203人	(前年度対比	-73人)
計	243人	(前年度対比	-102人)

(4) 原付技能講習の実施

自動車運転免許試験場、県南及び沿岸運転免許センターにおいて、原付免許の新規取得者に対して、道路交通の実態に応じた運転実技講習を実施した。

○ 自動車運転免許試験場	142人	(前年度対比	-25人)
○ 県南運転免許センター	196人	(前年度対比	±0人)
○ 沿岸運転免許センター	24人	(前年度対比	+5人)
(三陸自動車学校コース借用)			
計	362人	(前年度対比	-20人)

2 その他の委託業務

(1) 自動車保管場所調査及びデータ入力業務

自動車保管場所現地調査及び同データ入力業務を実施した。

○ 現地調査業務	79,102件	(前年度対比+1,983件)
○ データ入力業務	82,040件	(前年度対比+2,070件)

(2) パーキングチケット管理業務

盛岡市内の時間制限駐車区間に設置されたパーキングチケット発給設備の管理及び手数料の収納及び同区間の適正な駐車確保に関する指導を行った。

(3) 「運転免許更新連絡書」等の発送業務

運転免許の更新者に対して「運転免許更新連絡書」の発送業務を行った。

○ 運転免許更新連絡書	165,569人	(前年度対比-17,580人)
-------------	----------	-----------------

- 高齢者講習受講通知書等 42,741人 (前年度対比+ 3,678人)
- (4) 住所地以外の公安委員会を經由した免許証代理受領・郵送業務
優良運転者に対して行う住所地以外の公安委員会を經由した免許証の更新申請について、免許証の代理受領・郵送業務を適正に行った。

○ 受理件数 106件 (前年度対比 - 5件)

(5) 交通公園指導業務

(公財)岩手県スポーツ振興事業団から委託を受けた交通公園事業について、施設の適正な管理と利用者の安全確保を徹底するとともに、自転車の安全な利用や正しい乗り方についての交通指導を行った。

○ 交通安全講習会 42回 (前年度対比 - 6回)

○ 受講総人員 1,972人 (前年度対比 - 159人)

○ 一般来場者 32,532人 (前年度対比 - 5,677人)

第13 部外団体イベント等への後援・協力

- IBC交通安全キャンペーン (IBC岩手放送)
- 高校生交通安全CMコンテストの審査・表彰 (交対協・IBC)
- 交通安全キャンペーン
(テレビ岩手、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、めんこいテレビ)
- 盛岡市交通安全教室 (盛岡市)
- 岩手県交通安全公共パネル展 (県屋外広告美術業協会)
- 飲酒運転撲滅キャンペーン (岩手朝日テレビ・めんこいテレビ)
- 黄色い手帳運動 (テレビ岩手)
- 紙芝居・絵本贈呈式 (トヨタ八社会)

第14 交通安全事業に対する寄付の受納

- 4月2日 エフエム岩手 チャイルドシート 4台
- 5月23日 岩手朝日テレビ 30,000円
- 6月26日 岩手トヨタ自動車(株) チャイルドシート10台
- 10月29日 小さな親切運動県本部 反射材 940個 (10万円相当)
- 11月19日 岩手朝日テレビ 30,000円
- 1月23日 岩手朝日テレビ 30,000円

第15 その他

1 岩手県交通安全母の会連合会の事務局業務

岩手県交通安全母の会連合会の事務局を担当し、会長・副会長会議、理事会(6月15日)、通常総会(6月22日)の開催及び交通安全ボランティアブロック研修等を通じて、連合会の円滑かつ適正な業務推進に努めた。

2 交通安全功労者顕彰会の事務局業務

交通安全活動に多大な功労があった交通警察官及び交通指導員を表彰する「岩手県交通安全功労者顕彰会」を、11月26日(月)エスポワールいわてにおいて開催し、本年度の交通安全功労者として選考された警察官1名、交通指導員2名を表彰するなど、顕彰会事務を適切に推進した。

3 自転車安全教育指導員講習会の開催

岩手県教育委員会との共催で、自転車の安全教育に従事している交通指導員及び学校教諭で自転車安全教育の指導に携わる59人（前年度対比－19人）に対し、県内6地区（前年度対比±0地区）において自転車の安全な乗り方指導者講習会を開催し、新規22人（前年度対比－29人）の指導員について認定登録を行った。

4 TSマークの普及活動の推進

自転車の安全利用の推進と自転車事故にかかる被害者の救済を目的として、（公財）日本交通管理技術協会との業務契約に基づき、県警察及び県自転車・二輪車商業協同組合と連携してTSマークの普及のための各種施策を推進した。

5 県収入証紙の売りさばき事業

自動車運転免許試験場及び盛岡運転免許センター窓口において、各種講習受講者に対する県収入証紙の売りさばきを行い、利用者の利便を図った。